

10 25 計	車体系統	フコールポンプダイヤフラム破損	老 衰	新品交換修理	
総計					

ブルドーザー BB-4-27-22 (三菱東日本重工業株式会社) 8月より現場使用

故障発生月日	箇所	状 況	原 因	故障処置	故障防止対策
8 23 〃 〃 計	エンジン系統	モビールラヂエター漏油 モビール切替器油	製作不良 フエルトパッキン不良	ハンダ付 交換修理	
総計					

ロケ, プル N. G. DB~8-5003 (新潟鉄工) 9月18日より現場使用

故障発生月日	箇所	状 況	原 因	故障処置	故障防止対策
9 18 計	エンジン系統	ガスケット破損	老 衰	新品交換	
総計					

コンクリート ミキサーについて

心壁コンクリート工は天端幅 75 cm, 下端 150 cm, 高平均 12.5 m, この容積 1,856 m³ (鉄筋量 23 吨) の内 26 年度 800 m³, 27 年度 700 m³ を打設した。使用ミキサーは 0.4 m³ 練で練上コンクリートをバケツに移しエレベーターにより捲揚げ, シュートによるかまたは足場上の鉄枠板に移してネコ車で運搬打設したものである。

材料投入からバケツに移し終る迄 1 回の所要時間は約 6 分で 1 時間当 10 回であつて, 1 日平均打設量は 28 m³ であつた。これに対し使用した職工人夫は次の様である。

機 械 工 1.0 人 (ミキサー付)
運 転 工 1.0 〃 (エレベーター付)
人 夫 23.0 〃 (セメント 2.0 人, 水 1.0 人, 砂運搬 4.0 人, 砂利運搬 6.0 人, コンクリート小運搬 5.0 人, 搗固 5.0 人)
モーター 15 馬力 (ミキサー用)
20 馬力 (エレベーター用)
電 力 35 馬力 × 0.8 × 7 = 196 K.W.H

1 m³ 当実績歩掛は次の通りである。

機 械 工 0.04 人
運 転 工 0.04 〃
人 夫 0.8 〃

電 力 7 K.W.H
器具機械損料
同上運搬据付費 } 1 式
電力設備費

C.B.R-値とK-値について

(1) C.B.R (カリホルニア・ベアリング・レーショ) 試験
は 1942 年米国カリホルニア 公通局の提案により用いられた貫入試験であつて, 土の抗剪力係数を測定して路盤の支持力を算定するものである。

$$C.B.R = \frac{\text{試験荷重}}{\text{標準単位荷重}} \times 100 (\%)$$

標準単位荷重 = 搗固めた碎石の標準資料の中に直径 1.954 吋 (3 平方吋) のピストンを 0.1 吋貫入するのに要する荷重。

貫入深さ (吋)	標準荷重 (封度)	封度/平方吋
0.1	3,000	1,000
0.2	4,500	1,500
0.3	5,700	1,900
0.4	6,900	2,300
0.5	7,800	2,600

試験荷重 = 測定しようとする路盤に C.B.R ピストンを毎分 0.05 吋の速度で貫入し, 0.1 吋貫入時の荷重をダイアルゲージで読む。